

令和6年度を迎えて

矢田中学校に赴任し3年目を迎えます。本年度、新たに加わった8名の教職員を含めた全教職員が一つになり、よい伝統を継承しつつ、昨年度の成果と課題を踏まえ、新しい見方・考え方で教育活動を見直し、さらなる充実を図っていききたいと考えています。

4月9日には、106名の新1年生を迎え、全校生徒331名でスタートしました。どの生徒も、朝の登校では、元気に「おはようございます」と挨拶を交わしています。また、仲間のよさを大切にされた協働とともに、主体的な活動で、それぞれの目標に向かって粘り強く取り組んでいます。

昨年度まで2年間「ナゴヤ・スクールイノベーション事業モデル校」として、プロジェクト型学習(PBL)を「総合的な学習の時間」に取り入れてきました。1年生は「よりよい街づくり」、2年生は「SDGsプロジェクト」、3年生は「ビジネスの力でSDGsを推進」をテーマに、生徒一人ひとりが、地域貢献、社会貢献に繋がるプロジェクトを立ち上げ、主体的に取り組めました。「学区の交通事故を減らす取組」「体の不自由な人が幸せに暮らせる街づくり」「地球環境を守るエネルギー活用と保全活動の提案と取組」「名古屋ご当地エコバックを開発し、エコバック販売の収益を海洋保全活動に生かす提案」など、生徒は様々な思いをもち、地域や各施設で調査・情報収集、地域や起業家の人との交流・提案等を行いプロジェクト達成につなげました。この学習を通して、これからの人生を自分らしく生きるために必要な問題解決力、コミュニケーション力、自己調整力等、様々な力を高める姿が見られました。今年度は、実践3年目となりますので、2年間で積み上げた実践例を踏まえ、教職員が伴走の姿勢で生徒に関わり、「自分らしく生きる力」を育んでいきたいと考えています。

上記の実践も含め、本年度の学校努力目標「互いの良さを大切にして、自分らしく生きる力の育成」を目指し、学校ランドデザイン(別紙)を掲げました。今年度は、学年・学校行事や、生徒会活動等を生徒が主役となって企画運営できる機会を設ける等、キャリアナビゲーターとも連携してキャリア教育にも関わらせた取組を行っていきます。また、どの生徒も学校が居心地がよい場所となるよう、スクールカウンセラーとも連携を図るとともに、集団生活が苦手な生徒も安心して学ぶことができる場所(スマイルルーム)も活用していきます。そして、どの生徒も様々な活動において主体的に取り組む、随所に「自分らしさ」を発揮できるよう、教職員が活動を支え、「自分らしく生きる力」を育んでいきます。

このような、学校生活の姿や学習での成長は、学校だけでなく、「家庭や地域の支えと理解」があるからこそだと考えます。学校と家庭、地域が手を携えて子どもたちへの教育を進めていくことが、よりよい成長に不可欠であり、その成果は絶大だと考えますので、本校教育活動へのご理解・ご支援・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

令和6年4月30日